

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：わおわお東寺尾保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：氏家 朋子	定員（利用人数）：68名
所在地：〒230-0077 横浜市鶴見区東寺尾5-18-5	
TEL：045-716-8019	ホームページ： http://www.waowao.or.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 わおわお福祉会	
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：15名 子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：厨房
	居室：1歳児室 設備：調乳室
	居室：2歳児室 設備：遊戯室
	居室：3歳児室 設備：事務室
	居室：4歳児室 設備：乳児トイレ（沐浴室）
	居室：5歳児室 設備：幼児用トイレ
	設備：園庭

③理念・基本方針

<理念>

“ほめて・みとめて・はげまして”

～やる気を育て、自分で考えて行動できる子どもを育てる～

<基本方針>

1. 愛情いっぱいの中、あふれる笑顔と思いやりの心を大切にした保育
2. 第一に子どものことを優先し、最善は何かを考えて保育をする
3. ありのままを表出することができるように関わる
4. 家庭とお互いの方針を理解し合い、保護者と共に子育てをする
5. 子どものやろうとする気持ち、できる力を信じて励まし、意欲へと繋がるように関わる

④施設・事業所の特徴的な取組

<わおわお東寺尾保育園の特徴的な取り組み>

1. 乳児クラスでは、担当制保育を取り入れることで、担当保育士が子どもにとっての安心基地となり、探求心を育てると共に自己肯定感を育むうえでの土台作りとなるよう

にしている。

2. 幼児クラスでも、子どもの内面を捉えかわることで、一人ひとりがあるのままを表出し情緒の安定を図ると共に、自ら様々なものにかかわろうとし、挑戦してみようという意欲が育つような保育を行っている。

3. 保育所で働く職員として、職員一人ひとりが保育所の役割や保育士の役割などを理解したうえで子どもや保護者、地域の方とかかわり保育をする。

4. 子育て支援においては、おたよりや保育の見える化を行うなどして園での取り組みを保護者に伝えることで家庭での保育に活かせるようにすると共に見通しを持ってもらえるようにしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年06月21日（契約日） ～ 2023年03月03日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

【わおわお東寺尾保育園の概要】

●わおわお東寺尾保育園は、社会福祉法人わおわお福祉会（以下、法人という）の経営であり、横浜市に6園、川崎市に1園、東京都大田区に1園の認可保育園を運営し、法人グループのワオ・ジャパン株式会社では学童保育を横浜市に4事業所、川崎市に1事業所を展開しています。わおわお東寺尾保育園は平成25年4月1日に設立され、現在、在籍児童68名（定員60名）の保育を実施しています。

●わおわお東寺尾保育園は、鶴見区の北西部丘陵地のマンションや戸建ての住宅が建ち並び閑静な住宅街の一角にあり、鶴見区内では豊かな自然が残された地域です。園の周辺には、「岸谷公園」、「ふれあい樹林」や「白幡公園」、「馬場町公園」、「馬場花木園」等、公園も多く点在し、四季折々の自然に触れる環境下にあります。また、鶴見川河口等では約10万年前の化石（ナウマンゾウ）や、縄文時代の遺跡が出土する等、教育、文化に恵まれた環境に位置しています。

●わおわお東寺尾保育園は、シンボルゲートの門扉の壁にCIカラーの緑、赤、青の3色が鮮やかに彩られ、明るい印象の保育園です。園舎は平屋建てで、門を入ると園舎に囲まれるように園庭が広がり、砂場、遊具が揃っています。園舎内は、玄関を入りすぐ左手が事務室になっており、右へ長い廊下沿いに3歳～5歳児の保育室が個別に設けられています。L字型に沿った奥は、乳児保育室となり2歳児、1歳児と順に並び、角部屋は0歳児の保育室となっています。事務室は、人の出入り、園庭で遊ぶ子どもたちや全クラスに目配りができ、職員同士のコミュニケーション・連携が図りやすい利点があります。園庭側にはデッキが各部屋に沿ってL字型に敷設され、保育室から子どもが靴を履き替えて遊びやすくなっており、子ども本位の工夫がされています。わおわお東寺尾保育園では、法人の基本理念である「ほめて」・「みとめて」・「はげまして」に沿い、職員は一人ひとりの子どもを大切に保育に当たっています。

◇特長や今後期待される点

1. 【特徴ある活動の展開（5つの活動）】

わおわお東寺尾保育園の保育の特徴として、「知育」、「体育」、「英会話」、「食育」、「リズム遊び」に力をいれています。「知育」では、知育玩具を用いて遊びを通して文字や数にふれたり、空間や推理等を認識できるような遊びを取り入れています。「体育」については、幼児体育指導の資格を持った保育士から指導を受け、「英会話」は外部講

師から歌と遊びを通して、英語のリズムや発音を体感し、英語への興味・関心につながっています。「食育」活動では、栽培から調理体験まで「食を営む力」への基礎を育み、「リズム遊び」は音楽を使って、身体的、感覚的、知的に優れた子どもの育成に努めています。これらの活動の展開をプログラムに取り入れ、子どもが「学ぶ喜び」を引き出しています。

2. 【保育理論、活動を取り入れた保育所保育指針の展開】

わおわお東寺尾保育園では、これら保育理論、保育の特徴を生かして保育所保育指針を展開しています。この展開に際しては園長だけでなく、各職員がファシリテーターとなって、保育所保育指針に示されている内容の深い理解がなされるよう園内研修を行い、計画化しています。保育所保育指針や園の方針を判断基準とし、職員間で話し合い、子どもの理解を根拠として計画を立て、実践、振り返り、改善を行い、PDCAサイクルを機能させています。また、年齢別研修やキャリアパス研修、保護者支援研修等を法人内研修として行い、担当している子どもの発達過程を理解する必要性や各職員に求められる姿が明確になるよう、研修で得た知識を生かして取り組んでいます。

3. 【「子育てステーション」への取り組みについて】

わおわお東寺尾保育園では園庭開放、育児相談、交流保育の支援事業を実施しています。しかし、参加人数が少なく、園として、地域の子育て支援機能の強化を課題に挙げています。子育て支援の観点では、法人ビジョンでもあり、法人系列各園で地域の「子育てステーション」であることを目指し、必要な知識や技術が身に付くよう会議でロールプレイ等を取り入れ、習得につなげています。地域には子育てに関する悩み等が潜在的に多く見られ、地域の「子育てステーション」に期待がされます。保育所は地域の資源と考えた時、互いに利用し合える体制が見つかることが望まれます。自園でできない点については関係機関の協力も得る等、一考を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：社会福祉法人わおわお福祉会 わおわお東寺尾保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

園の自己評価を行っていく上で、認識のズレや園の課題が明確になった。項目ごとに振り返りを行っていくことで、昨年度の園の自己評価よりもより具体的に振り返りを行っていくことができたため、具体的な取り組みにどういったことが必要かが分かり、取り組みやすかった。

《評価後取り組んだ事として》

1. 働きやすい職場作りを行っていくため、業務の改善や勤務体制の見直しを行った。
2. 人材確保のための策を法人本部と園長会で考え、打ち出し実践している。
3. 職員の働きづらさ等を園長が把握し、改善していくために職員の声に耳を傾け、風通しのいい職場作りに努めている。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり